

2020年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2020年5月14日

上場会社名 株式会社サンワカンパニー

上場取引所 東

コード番号 3187 URL <http://www.sanwacompany.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山根 太郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 津崎 宏一

TEL 06-6359-6721

四半期報告書提出予定日 2020年5月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年9月期第2四半期の業績(2019年10月1日～2020年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期第2四半期	5,560	9.1	9	△77.4	14	△66.5	3	△85.9
2019年9月期第2四半期	5,095	7.0	43	△35.5	42	△35.5	27	△37.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年9月期第2四半期	0.22	0.22
2019年9月期第2四半期	1.69	1.67

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年9月期第2四半期	4,747	2,130	44.9	122.19
2019年9月期	4,694	2,177	46.4	125.03

(参考)自己資本 2020年9月期第2四半期 2,130百万円 2019年9月期 2,177百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年9月期	—	0.00	—	3.00	3.00
2020年9月期	—	0.00	—	—	—
2020年9月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※2020年9月期の配当予想については未定です。

3. 2020年9月期の業績予想(2019年10月1日～2020年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,114	8.8	36	△59.2	33	△60.9	21	△56.1	1.25

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年9月期2Q	17,831,200 株	2019年9月期	17,816,200 株
② 期末自己株式数	2020年9月期2Q	398,800 株	2019年9月期	398,800 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年9月期2Q	17,421,990 株	2019年9月期2Q	16,312,795 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。2020年9月期の配当予想は未定ですが、今後の業績等を総合的に勘案し配当を決定次第、速やかに開示いたします。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、堅調な企業収益を背景に、雇用情勢や所得環境の改善が続き、緩やかな回復傾向の動きがみられる一方で、消費増税が経済に与える影響や米中貿易摩擦の長期化に伴う中国経済の減速、また、新型コロナウイルス感染症の影響による国内外の経済への影響等が懸念されており、先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社は売上成長を維持しつつ高収益な企業体質に変革することを目指し、国内事業の収益基盤を強化すると同時に、海外事業の拡大成長に向けた土台作りを進めました。

国内事業におきましては、人気商品に顧客のニーズを反映した新しい仕様やカラー等のバリエーションを追加して商品ラインナップを拡充したほか、ECサイトに「幅」・「奥行」・「価格」で商品を絞り込むことができる機能の追加や複数の商品を組み合わせた際の完成イメージを視覚的にわかりやすく表示するページを作成するなど、当社商品の検討、選択につなげる改良を行い、更なる販売拡大を図りました。また、前事業年度に行ったポイント還元施策の結果、ポイントを利用した購入が増加したことや、2019年12月から2020年2月にかけて開催したウィンターセールでの販売が好調だったことも売上の拡大に寄与いたしました。ウィンターセールでは最大20%のポイント還元を行っており、ポイント利用によるリピート購入を促進することで、引き続き収益の基盤となる既存顧客のリテンション強化を図ってまいります。

当社は2019年8月22日に創業40周年を迎えており、この節目に、これまで支えてくださった皆様に直接感謝の気持ちをお伝えするため、2019年10月に創業の地である大阪で創業40周年記念式典を、2019年11月に東京で創業40周年記念パーティーをそれぞれ開催いたしました。式典では新たに策定した経営理念「くらしを楽しく、美しく。」を発表し、世界の人々の「くらし」で最も必要とされる企業集団を目指すことを皆様の前でお約束いたしました。

海外事業におきましては、2019年11月に中国の販売代理店が杭州に約400坪の旗艦ショールームをオープンし、今後はこちらを基点に中国全土へ事業を展開してまいります。また、新たに2019年10月にシンガポール、2019年12月にタイの現地法人とそれぞれ販売代理店契約を締結し、取引を開始するなど、着実に海外販路を拡大しております。

以上の結果、当第2四半期累計期間の経営成績は、売上高5,560百万円（前年同期比9.1%増）、営業利益9百万円（前年同期比77.4%減）、経常利益14百万円（前年同期比66.5%減）、四半期純利益3百万円（前年同期比85.9%減）となりました。

なお、当社は、住宅設備機器、建築資材のインターネット通信販売事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末に比べ52百万円増加し、4,747百万円となりました。その主な要因は、売掛金の増加150百万円、未着商品の増加42百万円、投資有価証券の増加39百万円、前渡金の増加31百万円があった一方で、商品の減少184百万円、現金及び預金の減少52百万円があったことによるものであります。

(負債)

当第2四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末に比べ100百万円増加し、2,617百万円となりました。その主な要因は、買掛金の増加161百万円、未払消費税の増加39百万円があった一方で、長期借入金の減少46百万円、1年内返済の長期借入金の減少42百万円があったことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末に比べ47百万円減少し、2,130百万円となりました。その主な要因は、利益剰余金の減少48百万円があったことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末と比較して52百万円減少し、651百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は210百万円（前年同期は97百万円の使用）となりました。これは主に仕入債務の増加額161百万円、たな卸資産の減少額148百万円、減価償却費85百万円を計上した一方で、売上債権の増加額150百万円、前渡金の増加額31百万円を計上したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は123百万円（前年同期比129.5%増）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出67百万円、投資有価証券の取得による支出40百万円、無形固定資産の取得による支出15百万円を計上したことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は139百万円（前年同期比20.0%減）となりました。これは主に長期借入金の返済による支出88百万円、配当金の支払額52百万円を計上したことによるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年9月期の業績予想につきましては、2019年11月14日に公表いたしました内容に変更ありません。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響については現時点では軽微であり、通期業績予想は一旦据え置きますが、今後の需要動向は不透明であり、業績への影響が判明した場合には速やかに開示いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年9月30日)	当第2四半期会計期間 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	704,012	651,416
売掛金	683,509	833,643
商品	1,050,301	865,802
未着商品	50,448	92,721
貯蔵品	30,596	23,963
前渡金	43,437	75,177
前払費用	68,451	84,761
その他	2,371	16,816
流動資産合計	2,633,128	2,644,303
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	652,156	660,492
工具、器具及び備品（純額）	53,190	52,995
土地	749	28,731
建設仮勘定	6,848	1,575
有形固定資産合計	712,945	743,795
無形固定資産		
特許権	37	0
商標権	6,457	8,409
意匠権	2,797	2,477
ソフトウェア	208,882	178,233
無形固定資産合計	218,174	189,119
投資その他の資産		
投資有価証券	200,408	240,195
関係会社株式	0	0
長期貸付金	49,382	49,780
関係会社長期貸付金	133,000	133,000
長期前払費用	346,183	338,974
差入保証金	447,281	447,157
繰延税金資産	78,470	85,585
その他	8,475	8,475
貸倒引当金	△133,000	△133,000
投資その他の資産合計	1,130,202	1,170,169
固定資産合計	2,061,322	2,103,083
資産合計	4,694,451	4,747,387

（単位：千円）

	前事業年度 (2019年9月30日)	当第2四半期会計期間 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	673,461	834,679
短期借入金	500,000	500,000
1年内返済予定の長期借入金	165,300	123,296
未払金	201,012	212,152
未払費用	79,211	84,117
未払法人税等	51,603	37,393
未払消費税等	4,851	43,992
前受金	509,388	500,047
預り金	7,564	7,925
賞与引当金	51,153	50,546
ポイント引当金	19,799	19,320
その他	7,921	4,375
流動負債合計	2,271,268	2,417,846
固定負債		
長期借入金	80,002	33,336
資産除去債務	163,472	163,842
長期預り保証金	2,000	2,250
固定負債合計	245,474	199,428
負債合計	2,516,742	2,617,274
純資産の部		
株主資本		
資本金	586,042	586,589
資本剰余金		
資本準備金	536,042	536,589
資本剰余金合計	536,042	536,589
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	1,200,986	1,152,624
利益剰余金合計	1,200,986	1,152,624
自己株式	△145,562	△145,562
株主資本合計	2,177,508	2,130,241
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	199	△128
評価・換算差額等合計	199	△128
純資産合計	2,177,708	2,130,112
負債純資産合計	4,694,451	4,747,387

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)
売上高	5,095,655	5,560,485
売上原価	3,365,209	3,617,190
売上総利益	1,730,445	1,943,295
販売費及び一般管理費	1,686,962	1,933,464
営業利益	43,482	9,830
営業外収益		
受取利息	3	637
為替差益	—	531
受取保険金	290	50
受取補償金	—	2,745
協賛金収入	—	2,000
物品売却益	181	171
法人税等還付加算金	191	—
その他	171	379
営業外収益合計	837	6,516
営業外費用		
支払利息	1,397	1,155
支払手数料	199	899
営業外費用合計	1,596	2,055
経常利益	42,724	14,291
特別損失		
固定資産除却損	627	176
特別損失合計	627	176
税引前四半期純利益	42,096	14,115
法人税、住民税及び事業税	11,739	17,195
法人税等調整額	2,770	△6,970
法人税等合計	14,509	10,225
四半期純利益	27,586	3,889

（3）四半期キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第2四半期累計期間 （自 2018年10月1日 至 2019年3月31日）	当第2四半期累計期間 （自 2019年10月1日 至 2020年3月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	42,096	14,115
減価償却費	84,553	85,548
賞与引当金の増減額（△は減少）	1,060	△607
株式報酬費用	3,515	7,030
ポイント引当金の増減額（△は減少）	35	△478
受取利息	△3	△637
支払利息	1,397	1,155
固定資産除却損	627	176
売上債権の増減額（△は増加）	△201,677	△150,134
たな卸資産の増減額（△は増加）	△244,290	148,860
仕入債務の増減額（△は減少）	127,130	161,217
前渡金の増減額（△は増加）	12,220	△31,740
前受金の増減額（△は減少）	38,528	△9,341
未払金の増減額（△は減少）	27,491	3,662
未払消費税等の増減額（△は減少）	△36,702	39,140
その他	27,986	△26,953
小計	△116,031	241,014
利息及び配当金の受取額	3	2
利息の支払額	△1,586	△1,127
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	20,463	△29,614
営業活動によるキャッシュ・フロー	△97,151	210,275
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△25,595	△67,064
投資有価証券の取得による支出	—	△40,260
無形固定資産の取得による支出	△14,247	△15,850
差入保証金の差入による支出	△14,242	△172
差入保証金の回収による収入	466	276
投資活動によるキャッシュ・フロー	△53,618	△123,071
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△129,004	△88,670
配当金の支払額	△46,772	△52,224
新株予約権の行使による株式の発行による収入	1,051	1,095
財務活動によるキャッシュ・フロー	△174,725	△139,799
現金及び現金同等物に係る換算差額	15	—
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△325,480	△52,595
現金及び現金同等物の期首残高	954,513	704,012
現金及び現金同等物の四半期末残高	629,032	651,416

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社は、住宅設備機器、建築資材のインターネット通信販売事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。